



ミニディスクロージャー誌 平成28年度 決算情報

## JAバンク新潟県信連 経営内容



### プロフィール（平成29年3月31日現在）

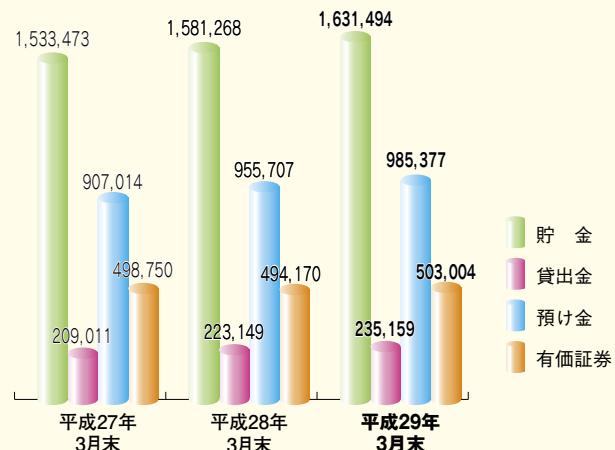
名 称 新潟県信用農業協同組合連合会  
本店所在地 新潟市中央区東中通一番町189番地3  
創 立 昭和23年8月  
総 資 産 1兆8,380億円  
出 資 金 562億円  
店 舗 本店  
職 員 数 171名(男子123名、女子48名)

# 事業の概況

## ■ 主要勘定の推移

	平成27年3月末	平成28年3月末	(単位:百万円) 平成29年3月末
貯金	1,533,473	1,581,268	<b>1,631,494</b>
貸出金	209,011	223,149	<b>235,159</b>
預け金	907,014	955,707	<b>985,377</b>
有価証券	498,750	494,170	<b>503,004</b>

- ・貯金残高(譲渡性貯金を含む)は、県下JAからの貯金の増加を主要因に、前年比502億円、3.17%の増加となりました。
- ・貸出金残高は、営業基盤の確立と収益力の強化に向けて融資伸長に取り組んだ結果、前年比120億円、5.38%の増加となりました。
- ・有価証券残高は、低金利環境が一段と進行するなか、リスク管理と収益性に留意しつつ、分散投資による効率的な運用に取り組んだ結果、前年比88億円、1.78%の増加となりました。



## ■ 収益等の推移

	平成27年3月期	平成28年3月期	(単位:百万円) 平成29年3月期
経常収益	19,492	19,914	<b>19,525</b>
経常費用	12,752	13,680	<b>13,574</b>
経常利益	6,740	6,234	<b>5,951</b>
当期剰余金	5,448	4,991	<b>4,806</b>
業務純益	5,357	5,101	<b>4,304</b>

- ・マイナス金利政策の下、運用利回りの低下による経常収益の減少から、経常利益は、前年比2億円、4.54%減少の59億円となりました。



## ■ 単体自己資本比率の推移

	平成27年3月末	平成28年3月末	(単位:百万円、%) 平成29年3月末
自己資本額(A)	145,743	143,633	<b>156,203</b>
リスク・アセット(B)	643,049	663,910	<b>755,375</b>
自己資本比率=(A)/(B)×100	22.66	21.63	<b>20.67</b>

- ・会員からの後配出資金受入や内部留保の積み増しにより自己資本額は増加しましたが、預け金等のリスク・アセットが増加したこと等により、自己資本比率は、前年比0.96ポイント低下し、20.67%となりました。
- ・国内基準(4%)および国際統一基準(8%)を大きく上回り、高い安全性・健全性を維持しています。



## ■ 有価証券等時価情報

### ● 有価証券

区分	平成28年3月末			平成29年3月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
満期保有目的	5,998	6,054	55	-	-	-
その他	453,395	488,171	34,775	<b>473,088</b>	<b>503,004</b>	<b>29,916</b>
合計	459,394	494,225	34,830	<b>473,088</b>	<b>503,004</b>	<b>29,916</b>

(注)

- ・有価証券の時価は、3月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- ・満期保有目的有価証券およびその他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

### ● 金銭の信託

区分	平成28年3月末			平成29年3月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	347	410	62	<b>384</b>	<b>421</b>	<b>36</b>
その他	24,014	24,090	76	<b>28,513</b>	<b>28,849</b>	<b>336</b>
合計	24,361	24,500	138	<b>28,898</b>	<b>29,270</b>	<b>372</b>

(注)

- ・金銭の信託の時価は、期末日における市場価格等に基づく時価としています。
- ・取得価額は、取得原価または償却原価によっており、運用目的金銭の信託については取得価額を、その他金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。
- ・なお、運用目的金銭の信託の評価差額は、当期の損益に含めています。

## ■ 不良債権の状況

### ● 金融再生法開示債権(単体)の推移



・不良債権比率は、不良債権額の減少と正常債権額の増加により、前年比で0.30ポイント改善し、1.41%となりました。

### ● 自己査定・保全の状況と開示債権 (平成29年3月末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円、%)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権		
債務者区分		残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	96	22	74	100.0		破産更生等債権	1,734	破綻先債権	85
実質破綻先	1,637	10	1,626	100.0		危険債権	761	延滞債権	2,410
破綻懸念先	761	216	527	97.6					
要注意先  <span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">(うち 要管理債権)</span>	(887)	(27)				要管理債権	887	3ヶ月以上延滞債権	—
						小計	3,383	貸出条件緩和債権	887
要管理先	887	27				小計	3,383	合計	3,382
その他要注意先	2,582					正常債権	237,668		
正常先 (地公体等を含む)	235,086					合計	241,052		
合計	241,052		(注)正常先、要注意先に対しては、税法上の緑入限度額により引当を行っています。						

#### 金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のこと、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3ヶ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

#### リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ること目的として利息の支払いを猶予したもの以外の貸出金です。
- 「3ヶ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3ヶ月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ること目的として、金利の减免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

# 地域経済への貢献

## ■ 資金調達および資金供給の状況（平成29年3月末）

当会は、県内のJA等が会員となり、互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、新潟県を事業区域として、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金が源泉であり、主として、JA・農業に関連する企業・団体および県内的一般企業や地方公共団体などご利用いただいている。

### ● 貯金内訳

#### 貯金（会員比率）

(単位:百万円)

区分	残高
会員	1,591,282
地方公共団体等	4,611
その他	35,599
合計	1,631,494

### ● 貸出金内訳

#### 貸出金（会員比率）

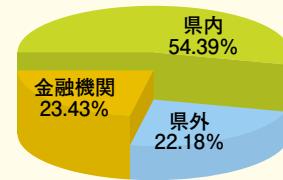
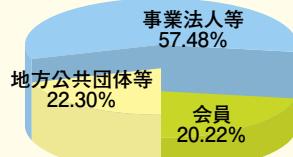
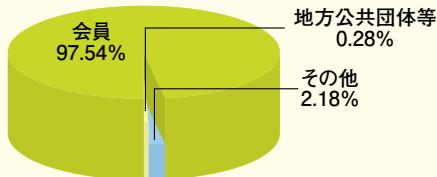
(単位:百万円)

区分	残高
会員	47,555
地方公共団体等	52,430
事業法人等	135,174
合計	235,159

#### 貸出金（県内比率）

(単位:百万円)

区分	残高
県内	127,910
県外	52,165
金融機関	55,083
合計	235,159



## ■ 地方債引受

上記の貸出による地域への資金供給のほか、新潟県債、新潟市債の引受により、新潟県経済の発展に貢献しています。

# 文化的・社会的貢献活動(CSRの取組み)

当会は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の一員として、広く地域社会の発展と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりを願い、次のような活動に取り組んでいます。

- JAバンク食農教育応援事業（JAによる食農教育活動への助成、補助教材本の県下小学校への贈呈）
- 「エコ定期貯金」の受入を通じた、公益社団法人にいがた縁の百年物語緑化推進委員会への寄付金の贈呈
- 環境保全への取組み(カーボン・オフセットの実施、エコキャップ運動への参加、業務車両へのエコカー導入など)
- 公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」による社会福祉法人等への助成金の贈呈
- 新潟県障害者スポーツ協会へのサッカー観戦チケットの寄贈
- 地域の文化振興応援と伝統文化普及を目的とした「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛、県内在住留学生ならびに高校生の招待
- アルビレックス新潟および新潟アルビレックスBBが開催する「スポーツ教室・食育教室」への特別協賛
- 役職員によるボランティア活動(地域清掃、団体献血など)、地域行事への参加(新潟まつり大民謡流し)、認知症センターの養成



第19回公益信託助成金贈呈式



新潟アルビレックスBBによるバスケットボール教室・食育教室



# 地域密着型金融への取組み

## ■ 地域農業活性化のための金融支援

JAバンク新潟（県下24JAと当会）では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。農業者に対する金融面での支援強化として、農業者向け資金に広く利子補給・保証料助成事業を実施し、農業者の実質金利負担の軽減を図るとともに、農林中央金庫等と連携した農業者向け各種ファンドの取扱いなど、多様なニーズにお応えしています。

平成28年度は、「担い手支援資金（愛称：アグリ1）」の継続や保証料助成対象資金の拡充を図るとともに、飼料用米等の生産拡大を後押しする「JA飼料用米等対策資金」の取扱いの継続（恒久化）などを行い、農業専門金融機関として農業者に対する円滑、迅速なサービス提供に努めました。

今後も、新潟県における農業メインバンクとして、農業者の皆さまを幅広く支援していきます。

農業資金残高（平成29年3月末）

（単位：件、百万円）

主な資金	県下JAおよび当会での取扱い		資金の内容
	件数	残高	
アグリマイティー資金	2,861	14,024	農地取得等、幅広い資金用途に長期で対応できる資金
農業近代化資金	553	5,243	機械・設備の取得等、農業経営の近代化を図るために必要な長期資金
農機具ローン	5,486	7,642	農機具の購入等に必要な資金
担い手支援資金（愛称：アグリ1）	1,953	4,071	担い手の農業生産に直結する設備・運転資金
各種災害等資金	1,858	1,899	台風・豪雪・地震等による被害に対する復旧や経営の安定化に必要な資金
にいがたアグリビジネスローン	54	670	農業法人、農業関連法人の経営に必要な資金
農業関連系統当座貸越	5	33,363	農産物販売代金の決済に至るまでのつなぎ資金
スーパーL資金	1,190	7,296	認定農業者の経営改善に必要な長期資金
その他農業資金	2,644	7,634	
合計	16,604	81,846	

JAグループ新潟利子補給・保証料助成実績（平成28年度）（単位：件、千円）

資金名	利子補給実績		保証料助成実績	
	件数	金額	件数	金額
担い手支援資金（愛称：アグリ1）ほか	1,617	20,033	3,429	22,556
各種災害等資金	1,732	18,646	-	-
畜産特別資金	1	21	-	-
合計	3,350	38,701	3,429	22,556

農業者向けファンド取扱実績（累計）（単位：件、百万円）

ファンド名	取扱実績	
	件数	出資額
アグリシードファンド	6	31
担い手経営体応援ファンド	2	50
合計	8	81

## ● にいがた農業応援ファンドの取組み

JAグループ新潟では、JA自己改革で掲げる3つの基本目標（農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化）を具体的に実現していくために、平成28年度から平成30年度の3年間における農業者への支援パッケージとして、「にいがた農業応援プログラム」を開設しています。

中でも、「にいがた農業応援ファンド」の平成28年度募集については、農業者の皆さまより多数のご応募をいただき、審査・抽選の結果、「農機具等の取得応援事業」等の4事業合計で299件・185百万円の助成を行いました。

今後も、農業者の取組みを後押しする、踏み込んだ支援に努めています。

にいがた農業応援ファンド取組実績（平成28年度）（単位：件、千円）

事業名	申請数	申請額	採択数	採択額
農機具等の取得応援	135	85,669	134	85,117
加工・流通・販売の促進応援	43	32,593	34	24,025
「JAグループ新潟 営農・経済改革プラン」推進	132	86,568	109	69,313
親元就農応援	33	9,900	22	6,600
合計	343	214,730	299	185,055

## ■ 6次産業化・農商工連携への取組み

### ● 商談会の開催

平成28年9月に東京都内で「うまさぎっしり新潟・食の大商談会2016」を共催し、平成29年1月に石川県金沢市で「JA・JFグループ北信越商談会」を開催しました。また、平成29年5月には新潟市で「にいがた食・環境・健康の展示商談会（しょくエコプラス!）」を開催します。

今後も、県内農産物の販路拡大への支援を通じ、新潟県農業および地域の活性化に貢献していきます。

### ● 情報誌「Sole!にいがた」の発行

農商工連携を促進する一環として、フリーペーパー形式の情報誌「Sole!（そーれ）!にいがた」を平成22年7月に創刊、年4回発行しています。

この情報誌では、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、「農と食」を基軸としたコミュニケーションを通して、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを創出するきっかけづくりを目指しています。

※「Sole!にいがた」バックナンバーは、当会ホームページでご覧いただけます。

※県内のJA窓口や直売所、道の駅、スーパー等で無料配布しています。



2017年春号

# 安心バンク、JAバンク

万全の体制で、組合員・利用者の皆さんに、より一層の「安心」と「便利」をお届けします。

## ■ JAバンクシステム

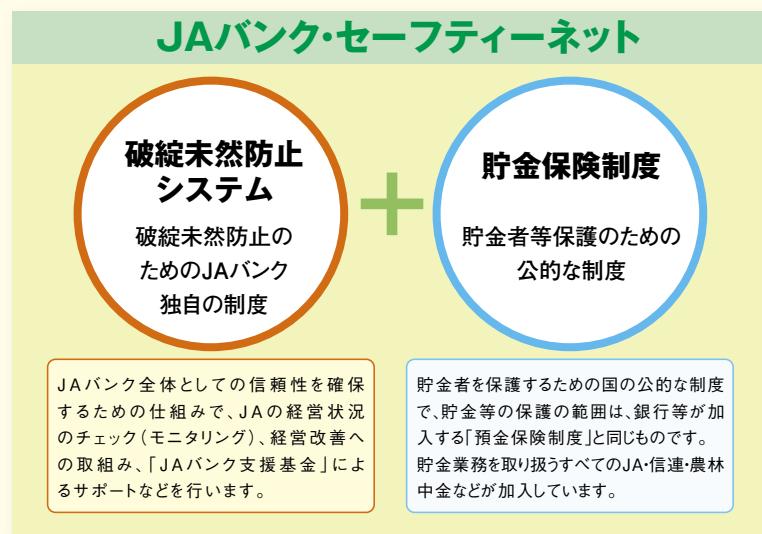
組合員・利用者の皆さんに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JA・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットと細かい顧客接点を生かした金融サービスの提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。



## ■ JAバンク・セーフティーネット

当会の貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と、公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との二重のセーフティーネットで守られており、組合員・利用者の皆さんに、より一層の安心をお届けしています。



平成29年5月発行

編集 新潟県信用農業協同組合連合会 経営企画部

〒951-8570

新潟市中央区東中通一番町189番地3

TEL 025-230-2111

<http://shinren.jabank-niigata.or.jp/> 新潟県信連 検索

※このミニディスクロージャー誌は、環境に配慮した植物油インキおよびFSC®森林認証紙を使用しています。

